



| 関連科目，教科書および補助教材  |                        |
|--|------------------------|
| 関連科目   |                        |
| 教科書  | 情報リテラシーの基礎(切田節子、近代科学社) |
| 補助教材等  |                        |
| 学習上の留意点  |                        |
| <p>情報処理 I は演習の授業であるが、教科書、記録用のノート、筆記用具、USBメモリーを持参するようにする。演算室の基本的な使用方法や情報リテラシーについて習得する。情報処理の最初の授業ということで、基本ソフト、ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトについて基本的な操作方法を説明し、今後の情報処理の関連授業に必要な基本的な内容を習得する必要がある。</p>  |                        |
| 担当教員からのメッセージ   |                        |
| <p>情報化社会が進んでいるので、連絡手段や学習方法がますますパソコンを使用する時代になっています。そのため、情報の取り扱いについてしっかりと学んでもらい、被害者や気づかぬうちに加害者にならないように情報処理 I の授業で学んでください。また、現在はメール、ワープロ、表計算、プレゼンテーションすべてがパソコンで行うことができます。これらの操作方法や使用ルールが分からないと、卒業研究や社会人になったときに非常に困ります。今回の授業でこれらの方法やルールを少しでも身につけてもらえればと思います。</p> |                        |

| 授業の明細  |  |  |                                    |
|--------|--|--|------------------------------------|
| 回      | 授業内容                                     | 到達目標   | 自学自習の内容<br>(予習・復習)                 |
| 1      | 0. ガイダンス<br>1. パソコン操作                    | ・学習の意義、授業の進め方、評価方法を説明できる。<br>・パソコンの基本的な操作ができる。   |                                    |
| 2      | 2. 情報倫理                                  | ・情報倫理ガイドライン、セキュリティー管理規定の概要が説明できる。<br>・ネットワーク社会と情報モラルについて説明できる。   | (予習)<br>教科書1ページ～26ページまで読んでくること。    |
| 3      |  |  |                                    |
| 4      | 3. 基本ソフト                                 | ・基本ソフト(Windows)のスタートメニューの利用と基本操作について説明する。<br>・アクセサリ、ファイル管理について説明できる。   | (予習)<br>教科書27ページ～86ページまで読んでくること。   |
| 5      |  |  |                                    |
| 6      | 4. ワードプロソフト                              | ・ワードプロのしくみと特徴、基本操作について説明できる。<br>・ワードプロの文書編集について説明し、文章作成方法について説明でき、使用することができる。<br>・ワードプロの図形と表作成について説明でき、使用することができる。                 | (予習)<br>教科書87ページ～166ページまで読んでくること。  |
| 7      |  |  |                                    |
| 8      |  |  |                                    |
| 9      | 5. 表計算ソフト                                | ・表計算ソフトの基本操作及びデータ入力方法について説明でき、使用することができる。<br>・表計算ソフトを用いた演習課題の作成方法について説明ができ、作成することができる。<br>・表計算ソフトを用いたグラフの作成方法について説明ができ、演習課題が作成すること | (予習)<br>教科書167ページ～221ページまで読んでくること。 |
| 10     |  |  |                                    |
| 11     |  |  |                                    |
| 12     | 6. プレゼンテーションソフト                          | ・プレゼンテーションソフトの基本操作を紹介し、基本操作について説明する。<br>・プレゼンテーションソフトを用いた演習課題の作成方法について説明する。<br>・プレゼンテーションソフトを用いた演習課題の発表方法について説明する。                 | (予習)<br>教科書247ページ～296ページまで読んでくること。 |
| 13     |  |  |                                    |
| 14     |  |  |                                    |
| 期末試験   |  |  |                                    |
| 15     | 答案返却・解答解説<br>全体の学習事項のまとめ<br>授業改善アンケートの実施 | ・試験問題の解説を通じて間違った箇所を説明できる。  |                                    |
| 総授業時間数 |  |  | 30時間                               |